

萬世大路

東北中央自動車道
(福島～米沢北) 通信

第44号 平成26年6月 発行



工事紹介 ぱーと35

◇中田高架橋上部工工事

請負者：(株)東京鐵骨橋梁

工期：H25年9月～H26年7月

国道13号を横断する橋桁を設置する工事です。

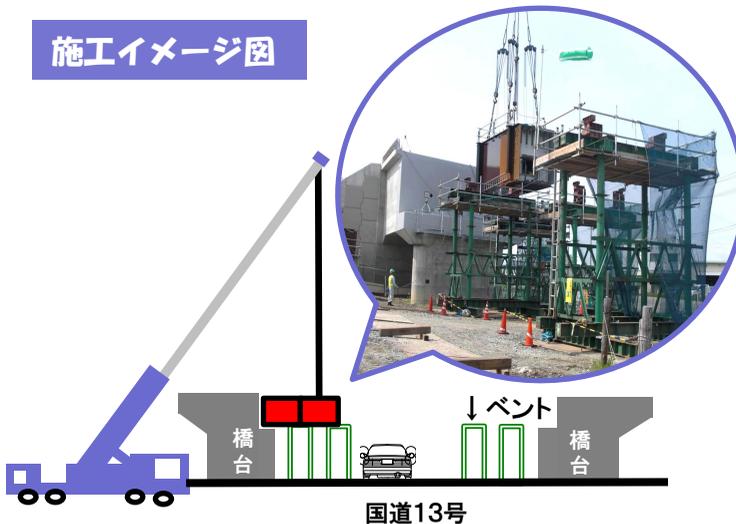
中田高架橋(仮称)の橋桁が設置完了しました!

この現場では、国道13号を横断する橋桁を設置(架設)する工事を4月より行っています。

橋桁は、11ブロックに分けられた2本の鋼材を使用しており、360トン吊りのクレーンにて架設します。

施工は「トラッククレーンベント工法」とよばれる工法を採用。ベントとは仮橋脚という意味で、橋桁を仮受けするために橋台との間に設置し、その後は橋桁を順次つなぎ合わせます。

施工イメージ図



天候にも恵まれ無事に架設作業を進めることができました。

現場付近にお住まいの方やご通行の方、ご協力ありがとうございました。

そして、作業員のみなさんお疲れさまでした!

↑架設前



↑架設状況 5月29日、30日の夜間に国道13号の通行規制を行い、架設作業を行いました。



◎ 橋の全長：65.5メートル
◎ 幅員：12.78メートル

↑架設完了後

今後の完成までの道のり

◇道路の床部分(コンクリート床版)を工事
《他工事で施工：平成27年2月完了予定》

◇アスファルト舗装工事



工事完了となります。

架設をシミュレーション



中田高架橋(仮称)の橋桁は、茨城県取手市の工場で作られました。
 工場の敷地内では、架設される状況を事前にシミュレーション(仮組立)を行い、設計通りに造られているか検査します。
 合格すると現場へ運ばれますが、組立てられた桁は全長約70mもあるため、バラバラに分解されトラックで陸路により運搬されます。

現場のエキスパート



現場代理人/監理技術者(兼務)
 (株)東京鐵骨橋梁 有馬康秀さん

大きなクレーンを使用して、鉄のブロックをつないで橋を架設しています。
 重量物を落とさないよう十分安全には配慮して仕事を行っています。7月までの短い期間ですが、よろしくお願いいたします。



米工生がインターンシップを行いました!



6月17日～6月19日の3日間、米沢工業高校2学年の5名が、米沢国道維持出張所、南陽出張所、米沢監督官詰所において、インターンシップ(就業体験学習)を行いました。
 2日目に現在建設が進む、東北中央道の栗子トンネル、中田高架橋、盛土工事等の工事現場で施工管理、現場監督業務を体験しました。
 普段見ることができない工事現場での作業工程を実際に見て、体験した事で土木に対する意識が強くなったようでした。
 この経験が、今後の将来設計に少しでも役に立ってもらえればと思います。
 米工生のみなさん、3日間おつかれさまでした!



ご意見・お問い合わせ先
 国土交通省 東北地方整備局
 山形河川国道事務所 米沢監督官詰所

〒992-0011 山形県米沢市中田町260-2
 TEL: 0238-37-5570 FAX: 0238-37-5575
<http://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/banseitairo/banseitairo.html>

